

経営比較分析表（平成28年度決算）

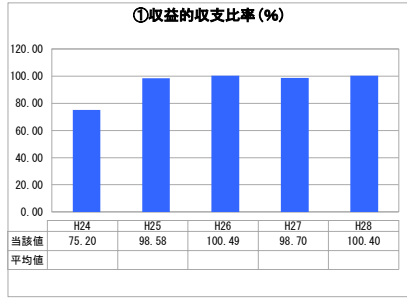
和歌山県 印南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	13.53	100.00	4,900

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,521	113.62	75.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,148	0.38	3,021.05

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



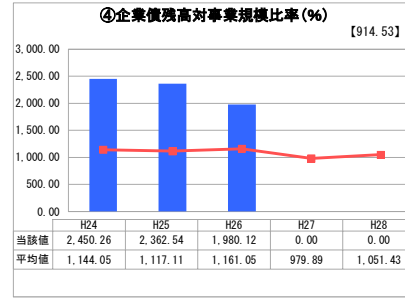
「単年度の収支」



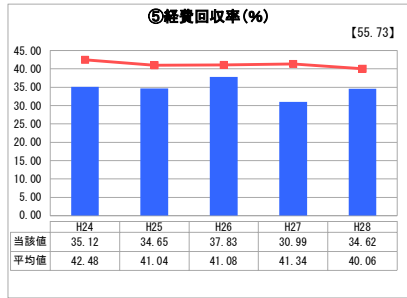
「累積欠損」



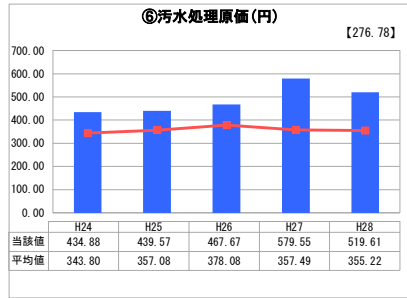
「支払能力」



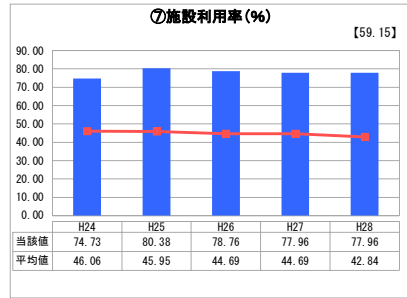
「債務残高」



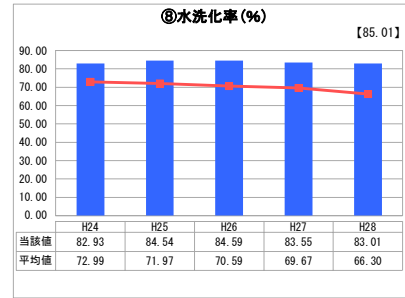
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

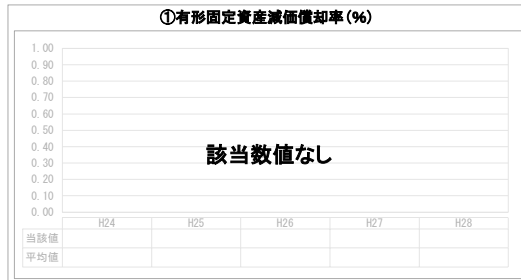


「施設の効率性」

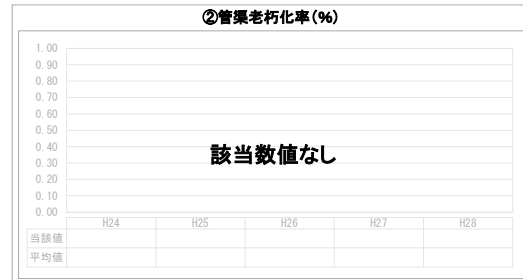


「使用料対象の捕捉」

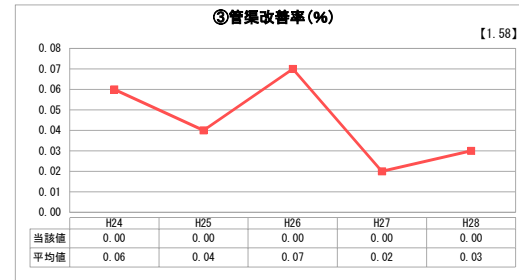
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

汚水処理原価が修繕費の減により、類似団体平均を上回っているものの、前年度よりも低下した。また前年度から一般会計繰入金が増加したが、ここ数年、地方債の新規借入を行っていないため地方債残高は減少してきている。

2. 老朽化の状況について

町内3施設のうち山口・古井処理施設については機能強化事業の採択のため、平成27年度には機能診断・最適整備構想を策定し、平成28年度には事業計画の策定を行った。平成29年度には実施設計を行い平成30年度には古井地区処理施設で事業実施予定である。

全体総括

供用開始から10年が経過する処理施設において維持修繕に対する経費が発生しつつあり、修繕費の増減が各数値に大きく影響している。接続率の向上・収納率の確保を重点に実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。